

国会ペーパーレス議論

電子データで
議案など閲覧

野党内には異論も

2018.10.7 読売新聞

国会で使われる大量の紙を削減する「ペーパーレス化」の議論が、今月下旬召集の臨時国会から本格化しそうだ。議案や会議録など

を紙で配布せず、電子データでの閲覧に切り替えることで、印刷費の節減や法案審議の効率化を図る狙いがある。

衆院では臨時国会から、請願処理の経過報告書を原則として印刷せず、インターネット上の国会関係者専用ページに掲載することで議員に周知する方針だ。

衆院では自民、公明両党が7月末、定数を6増する公職選挙法改正を受けて経費節減の作業チームを発足させた。ペーパーレス化や議員歳費のあり方を含め、半数改選で増える定数3人分の経費(約2億1900万円)削減案を、年内をめぐりにまとめる方針だ。

衆院では自民、公明両党が7月末、定数を6増する公職選挙法改正を受けて経費節減の作業チームを発足させた。ペーパーレス化や議員歳費のあり方を含め、半数改選で増える定数3人分の経費(約2億1900万円)削減案を、年内をめぐりにまとめる方針だ。

国会の「ペーパーレス化」の狙いと課題

| 狙い | 課題 |
|----------------------------|--|
| 衆参両院で年約12億円にのぼる印刷費の大幅削減 | 文書の種類や個別事情に応じて印刷・配布を一部維持する場合、国会職員の作業が煩雑に |
| 時間のかかる印刷作業の手間を削減し、法案審議を効率化 | 衆参規則の改正は全会一致が慣例だが、内閣不信任案などの電子化には一部野党に異論も |

衆院は2019年度予算の概算要求でも、初めてICT(情報通信技術)化の調査費として700万円を計上した。将来的に各議員に、電子データで文書を配布するためのタブレット端

末の配備にかかる費用や効果などを検証する。国会では文書の電子化が進んでおらず、衆参両院の印刷関連費は、年間約12億円(18年度予算額)に上っている。議会運営の手續きなどを定める衆院規則が「議長は議案を印刷して各議員に配付する」(28条2項)と明記しており、参院

規則にも同様の規定があるため、決議案の全衆院議員分の印刷に2時間程度かかることを利用している面があるためだ。「印刷時間を利用することは効果的な抵抗戦術」(野党関係者)という。衆参の規則改正は与野党全会一致が慣例のため、合意形成が難航する可能性もある。

衆院では自民、公明両党が7月末、定数を6増する公職選挙法改正を受けて経費節減の作業チームを発足させた。ペーパーレス化や議員歳費のあり方を含め、半数改選で増える定数3人分の経費(約2億1900万円)削減案を、年内をめぐりにまとめる方針だ。